

はじめに

このたび、東京都図書館協会の平成18年度事業として、『TLAの55年』を発行することとなりました。

東京都図書館協会（略称：TLA）は、戦後の混乱がまだ続く1949（昭和24）年7月に設立されました。『TLAニュース』の第1号には、「地域協会として、同じ都内に同職業に携わるわれわれお互いがよく知り合い、共同研究や共同作業をすすめようとの意図のもとに、本会が早大図書館で発会式をあげた」とあります。まさに、この精神が50年を過ぎた今でも脈々と受け継がれていることとなります。

一つの会が50年以上にわたって活動を続けていくということは、その陰に、多くの先人たちのご苦勞があったことは言うまでもありません。小誌を見ても、ほとんど活動が行われなかったと思われる時期が何度かあります。そのたびにこの発会の精神に立ち返り、活動を続けられた諸先輩のご努力と強い意志に、改めて頭の下がる思いであります。また、小誌は本会の歴史とともに、戦後の東京で、どのように図書館活動が行われてきたのかを知ることができる貴重な資料です。

この『TLAの55年』は、当会の副会長である今まど子先生におまとめいただきました。長い年月の間に散逸してしまった資料を求め、主要な図書館を回られ、丹念に情報を集められたとうかがっています。この場をお借りして、御礼を申し上げます。ありがとうございました。

私ども東京都図書館協会は、これからも館種を越えた情報交換、交流の場を設定していきたいと考えております。個人会員並びに施設会員の皆様の、さらなるお力添えをお願いしたいと存じます。

最後になりましたが、本会の母体である日本図書館協会に感謝するとともに、歴代会長・役員、先輩諸氏をはじめ、会員の皆様の志を、伝え、守り、育んでいきたいと心に期して、ご挨拶といたします。

平成18年11月吉日

東京都図書館協会

会長 松田 二郎